

# 日本画

## 美術科 日本画コース

TR テキストレポート科目 TW テキスト作品科目 TX テキスト特別科目 S スクーリング科目 GS 藝術学舎科目 WS Webスクーリング科目 必 必修科目 選必 選択必修科目 選 選択科目

※下記で紹介する科目は2018年度開講予定のものです。一部、変更になる場合があります。

## 日本画コース専門教育科目

STEP①

対象を見る力、描く力を育むとともに、画材の基礎的な扱い方を学ぶ。

科目名	サブタイトル	S/T	必/選	単位数	単位修得試験	履修内容
1年次						
日本画演習 I-1	鉛筆による細密描写／色鉛筆による細密描写(1)	TW	必	各2		野菜や果物をモチーフとして、対象を丹念に描写し、そのものの本質をしっかり捉えて表現することで日本画を学ぶための基礎を身につける。写生を中心に身近な対象物の形、色、質感を捉えることに主眼を置き、ものの見方を深める。画材としてはまず鉛筆、色鉛筆から始め、水干絵具、岩絵具の扱い方までを習得する。
日本画演習 I-2	色鉛筆による細密描写(2)／色鉛筆と水干・岩絵具による制作	TW	必			
日本画 I-1	鉛筆写生	S	必	各1		グラス、野菜、果物、レンガなどのモチーフを組み合わせ、鉛筆および色鉛筆によって細密に表現することにより、制作の基礎となる描写力を養う。ものの形、明度、質感などをじっくりと時間をかけて観察し、表現する。
日本画 I-2	色鉛筆写生	S	必			
日本画 II-1	水干・岩絵具併用による制作	S	必	各2		写生をもとに膠・水干絵具・岩絵具などの日本画材を用いて制作する。日本画の制作過程を経験する中で、画材の基本的な扱い方と様々な表現技法を学ぶ。
日本画 II-2	剥製／写生と制作	S	必			

STEP②

写生から制作への過程を学びつつ、自分なりの表現を考える。

科目名	サブタイトル	S/T	必/選	単位数	単位修得試験	履修内容
2年次						
日本画演習 II-1	風景制作のための写生／水干・岩絵具による風景制作	TW	必	各2		風景、静物をテーマに写生し、それを基に水干絵具・岩絵具で制作する。1年次で培った描写力を更に深めながらも、単なる写生にとどまらず、写生を通して自身の想いをどのように表現するのか学ぶ。
日本画演習 II-2	静物制作のための写生／水干・岩絵具による静物制作	TW	必			
日本画 III-1	植物写生	S	必	1		植物写生からイメージをふくらませて描くことを学ぶ。さらに、箔を使った技法を試みる。
日本画 III-2	植物制作	S	必	2		
日本画IV-1	水彩写生	S	必	1		水彩を使用した写生で観察力、描写力などの基礎を身につける。
日本画IV-2	模写／彩色	S	必	2		古画の模写を通して、線描表現と天然の岩絵の具について学びながら、古来の人々の感性を感じとる。

## より専門性の高いモチーフに挑み、制作のスキルを磨く。

科目名	サブタイトル	S/T	必/選	単位数	単位修得試験	履修内容
3年次						
日本画演習Ⅲ-1	自画像素描および写生/上半身自画像制作	TX	必	各2		自画像の写生から制作までを経験することにより、人物画の基礎を身につける。樹木と花や実の付いた植物を大きな紙に体当たりで写生することで、生命あるものの本質に迫る。
日本画演習Ⅲ-2	木の写生/花または実のついた植物の写生	TX	必			
日本画Ⅴ-1	人物写生	S	選必 ※	各2		[人物] 実際のモデルを使って写生から制作へとつなげていく。単なる写生ではなく、心の中に表現したいことを育てながら、自分なりの表現を意識して描く。  [風景] 様々な景色の中から心に感じた場所を画面いっぱいに描き込む。自然の中の季節や時間、建物、行き交う人々の様子などの対話を通して、自己の絵画表現を考える。  ※「日本画Ⅴ-1・2・3(人物)」または「日本画Ⅴ-4・5・6(風景)」を選択する。
日本画Ⅴ-2	人物制作1	S				
日本画Ⅴ-3	人物制作2	S				
日本画Ⅴ-4	風景写生	S				
日本画Ⅴ-5	風景制作1	S				
日本画Ⅴ-6	風景制作2	S				

## 自分の制作テーマを深め、100号作品として完成させる。

科目名	サブタイトル	S/T	必/選	単位数	単位修得試験	履修内容
4年次						
日本画演習Ⅳ	40号自由制作とレポート/ 卒業制作のレポート、ポートフォリオ	TX	必	4		40号自由制作のための小下絵とレポートを作り、計画的に制作を進める。卒業制作の終盤にはレポートとポートフォリオを作成して自己の作品を検証する。
卒業制作		S	必	6		各自が設定したテーマに基づき、学びの集大成となる作品を制作する。対象物に対する思いや自己の表現テーマをより深め、制作者の思いが伝わる作品を目指す。

## コースからのスクーリング開講に関するお知らせ

1～4年次まで全ての科目を東京でも開講しますので、卒業要件に必要な単位を東京で開講するスクーリングだけで修得することも可能です。

ただし、3年次の選択必修科目の一部に京都のみ開講となるものがありますので、その科目を選択する場合は京都で受講することになります。全年次で6日間連続のスクーリングもあります。